



## 定期戦結団式 校長挨拶要旨 H31.4.26(金)

●こんにちは。まず始めに、定期戦開催に向けて、準備を進めてくれている生徒会役員をはじめとする多くのスタッフのみなさんに、感謝申し上げます。目に見えないところでの準備作業も、定期戦を実施するためには重要な仕事です。定期戦当日まで多くの仕事があると思いますが、よろしくをお願いします。

- 次に、毎日応援練習に取り組んでいる、応援団・チアリーダー、吹奏楽部のみなさんにも感謝申し上げます。みなさんがリードして全校で行われる応援は選手一人一人にとって、大きな力になります。特に試合を左右するような場面では、「最後まであきらめない」、「まだがんばれる」という「勇気」と「粘り」と「元気」を与えてくれます。最後まで、力強い応援をお願いします。
- さて、選手諸君、先ほどは、各部の定期戦に寄せる強い思いを聞かせていただきました。たいへん心強く感じました。勝敗は、その時その瞬間で変わることがあります。勝ったと思う瞬間が、最も危うい。そして、負けそうになったときこそ、力を振り絞るときです。勝敗が決まるその時まで全力で戦うことを肝に銘じて下さい。
- 定期戦のように、全競技を対象に、全校生徒が一体となって応援し、結果に一喜一憂するような学校行事は、他の学校にはないものです。72年もの長い期間続いていることが奇跡のようでもあり、素晴らしいことです。ここまで続いているのは、単に勝敗だけで無く、互いの学校の生徒諸君が、相手を尊敬し合い、大切に育て上げてきたからです。これが、下高・海高のもつ伝統のすばらしさ。兄弟校の「絆」です。フェアプレーの精神を貫き、そのうえで、10連勝を達成し、「為桜の丘」を君たちと一緒に、声高らかに、歌いましょう。

### 「稲荷神社」

本校の応援歌として代々伝わる応援歌である「下高節」の中にも出てくる「稲荷山」は、学校の北側に隣接しています。運動部の試合前に必勝祈願をしている生徒もいます。

